

一先の用事請出先ラヨルニ至リ

二会員社側ノ同意後夕同體合會計算井第ニシテ
暮來時向中他部工場ニ至リ組合入会、勧誘ヲ有シタル
実アリトニ爾職シタル爲ノ組合方口宣ハ一旦解決ナシテシル矣
先斯ル日早ナル理由、下ニ解説テナスが如キ入會々會社ニシテ
意ナク組合加入者、回営業減退、運命ニ遭ハスルハ明ナ
レハ之ヲ对抗第ニ講博セサンベカラストンホリ即ち部令ナリキ
友記要求ヲ提出スハニ決シ後田ナ代表トニ交渉セシメントス
凡モ會社ノオ三者ノ介在ヲ拒絶シ又ハ爲メ築井義三郎
大井辰光、齊藤建光、三名ヲ組合代表トシテニ集ひ
会見申シメテ

會社組合存在ヲ認メズ再び交渉ヲ拒絶シテ

要 求 條 件

第一條 日給ニ割増

第二條 解職手當ハ其勤続、三ヶ月以上六ヶ月未満ハ四拾四日

以上一ヶ月ヲ割増スル毎ニ一巴分加算

第三條 退職手當ハ其勤続二年又六日迄二十日分以上一ヶ月

ヲ増スル毎ニ一巴分加算

第四條 重役、高志ヲ主事ニセズ組合運動、目的ヲ妨シル
独断、行為ヲ執ル友記工場主任ハ會社ノ不利益トシテ

シ禁メス

一製鐵工場主任、造船運動主任、造船取件主任、

高志会員社職工總數五千五百二人（臨時工約四〇〇名を含ム）全

職員参加人四百八約六百人ナリ（機械造船工組合、主事ナリ本部職員

二開典シ其數約五百人ト認メスル）而シニ工場以外一千零團体